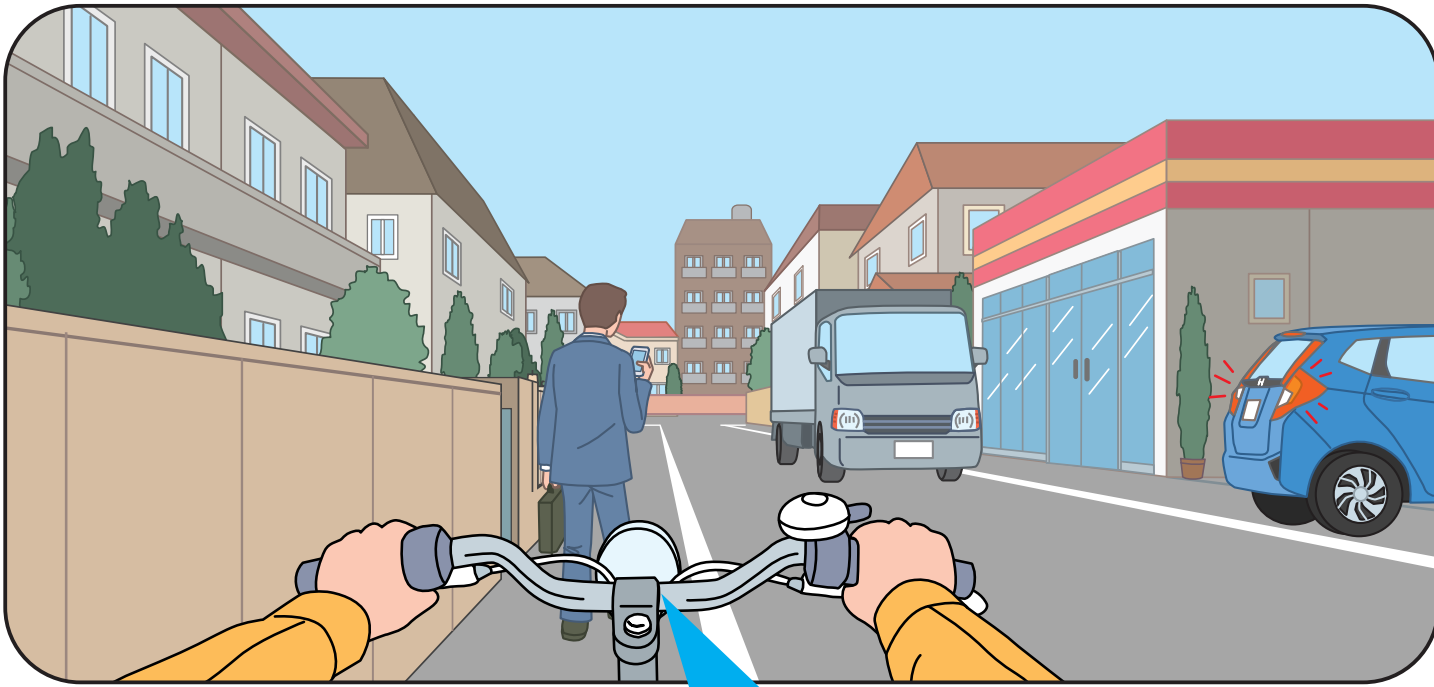


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第40回 歩行者を追い越そうとしている時 (自転車編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は自転車利用者に、狭い車道を走行する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



あなたは前方の歩行者を安全に追い越すため、路側帯から車道に出ようとしています。右側の駐車場にいるクルマが後退を始めていますが、対向車のトラックは近づいて来ます。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

活用方法

- ① 少人数のグループをつくりまします。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 21

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



東京都八王子市の交通安全教育指導者の皆さん
村山祐美さん(写真左)、佐々木由紀江さん(写真右)

小学生への自転車教育を積極的に推進

八王子市は約56万人が暮らす東京都西部の中核都市である。幼児、小・中学生、高齢者を中心に市民への交通安全教育を担うのが、交通安全教育指導員の村山祐美さん、佐々木由紀江さんを含む5名だ。

同市では、市民への自転車利用時のルール・マナーの啓発、特に小学生の自転車乗用時のヘルメット着用に力を入れている。さらに、小学生への自転車安全運転免許証発行事業を推進している。これは、小学3年生を対象に自転車教室を行い、児童に免許証を交付するというもの。平成16年度には2校で試験的にスタートし、平成25年度には市内の小学校70校中57校で実施するまでにいった。 「自転車教室では2時限を使って交通安全講話、学科テスト、実技テストを行っています。これを私たちだけでなく、警察や交通安全協会と連携して進めていることが大きな特色です。学校側の理解もあって、ここまで普及させることができました」と村山さんは話す。

さらに、同市は5年前から小学5年生への自転車教育も授業に組み込んでもらうよう小学校にはたらいきかけている。自転車のルールの再確認と、車両の運転者としての自覚を促すことを目的とした座学で、70校

中55校(平成25年度)に拡がっている。高齢者においては近年、老人会といった地域の組織が減少していることを考慮し、高齢者が集まるサロンやグラウンドゴルフなどの会場に交通安全教育指導員の皆さんが訪問し、そこで啓発活動を行っている。「最近では『交通安全』というテーマだけでは、高齢者の皆さんに集まっていただけなくなってきました。そこで、私たちのほうから集まる場所に向かっています。会場に

自転車やクルマを運転していらっしゃる方が多いので、こうした機会を活用しています」と村山さんはいふ。「まず、お伝えしているのは、その日の自分の体調をきちんと把握するという。少しでも『おかしい』と感じたら、無理をせず自転車やクルマの運転は控えるのが安全です。そして教材を使いながら、自分はちゃんと観ているつもりでも、実は観ていないことなどを理解していただいています」。

★高齢者を対象にした交通安全教室



地域のサロンなどを訪問し、交通安全教室を実施。おばあさんの腹話術人形を使って事故防止のポイントを説明

1つのことにずっと注目していると、その他のことに気づかないことを知ってもらうための教材。上下左右の矢印だけに注目していると、中央の黒い「H」という文字に気づかない



様々な図形や文字が並んだものを一定の時間だけ見せた後、何がいくつあったかを高齢者に尋ねる。自分は観ているつもりでも、実は観ていないことに気づいてもらう



★子どもを対象にした交通安全教室で使用する教材

イラストの中で、正しく横断している人に○、そうでない人に×をつけてもらう



★2カ所に設けられた交通公園

八王子市には交通公園が2カ所あり、街中の道路や信号機などが再現され、自転車に乗りながら、交通ルールを学ぶことができる。また、自転車安全運転免許証のための教室も行われている



交通公園では「夏休み交通安全フェア」を開催。子どもを中心に自転車の安全運転について理解を深めてもらう

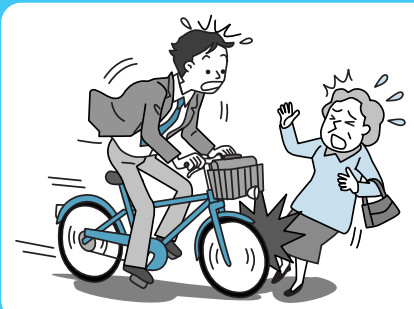
指導者の皆さんの活動を動画でご紹介
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

SJクイズ ?

Q1 平成25年の自転車乗用中の交通事故死傷者数を年齢層別にみると、最も多いのは次のうちの年齢層でしょう？
① 15歳以下 ② 16～24歳
③ 40～49歳 ④ 65歳以上

Q2 中学生年代にあたる13～15歳の交通事故死傷者数は1万5579人(平成25年)ですが、このうち自転車乗用中に死傷した割合は何%でしょう？
① 約33% ② 約44%
③ 約55% ④ 約66%

Q3 平成25年の自転車関連事故件数(自転車が第1当事者又は第2当事者となった交通事故件数)は10年前と比べ66%減少しましたが、対歩行者の事故件数は10年前と比べ、どのような状況でしょう？
① 減少した ② ほぼ変わっていない
③ 増加した



※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)